長生村議会議員

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2018 年 9 月第 125 号
石井としお後援会発行
部内討議資料
長生村七井土 1387-2
電話 090-3094-0321

「危険ブロック塀の改修に補助」
無秩序な太陽光設置に条例化 － 9 月議会

観測史上例をみないほどの猛暑でした。その上列島には豪雨、台風、地震と容赦なく災害がつづき心やすらぐことのない日々でした。皆様、健康にお過ごしいただけましたか。季節も彼岸を過ぎ、これからはおだやかに移ろってほしいものです。

今号では、9 月議会の様子を中心に石井としおの活動報告をします。議会は 11 日～12 日に開かれ 29 年度の決算報告、人事案件、各種議案、請願 2 件、一般質問は石井、関、塩谷の 3 議員でした。29 年度の決算報告は決算審査特別委員会を設置し、後日、詳細審査となりました。請願一件を除き全ての案件と議案が可決されました。

台風 13 号到来時の一松海岸～砂が流出。

石井としおの一般質問

1 災害から村を守る準備

今年は記録的な西日本の集中豪雨、高温、強烈な台風、大阪、北海道への地震災害へと続きました。お亡くなりになった方、家屋の被害、農作物の被害などを受けた皆様に対し、心からお見舞いを申し上げます。

そこで 3 つ質問します。

(1)6 月 18 日に発生した大阪地震に伴うブロックの倒壊で 9 歳の子供さんが亡くなりました。本村での類似する危険箇所への調査と対策について伺います。

教育長・学校教育課長、全課長で現場調査を行い一松小学校のプールわきのブロック塀が特に危険なので早速改修工事をしました。長生中と八積小に残る問題箇所は今後、国の補助金などを活用し改修工事をおこないます。通学路の調査結果は 224 箇所中 43 箇所に危険箇所がありました。

石井、一般家庭における周知や把握はどう考えているのか伺います。

まちづくり課長、周知は村のホームページや広報 7 月号でしてきた。今後もあらゆる機会をもって周知と調査をします。

石井、個人の改修工事に対し、村が工事費の補助をする考え方がありますか。

まちづくり課長、改修工事への補助は 1 平方メートル 8000 円、上限 20 万円です。

(2)台風 13 号における本村の災害準備、被害と避難への対応。避難者への食事、入浴、送迎はどうだったのか伺います。

村長・総務課長、台風接近の数日前より防災機材や非常食の確認を行い、前日には防災無線などで注意喚起をし、各課との協議をし、78 名の方々が保健センターなどに避難しました。食事は村が備蓄していたもの、

福祉センターの入浴施設は解放しなかった。6名が福祉タクシーを利用されました。幸いにも大きな被害はありませんでした。

石井福祉センターの入浴は解放できないものか。私の村長現職中、その為にフロは残しました。タクシー利用は災害避難時には無料にすることはできないものか。

総務課長福祉センターの入浴解放は考えていない。福祉タクシーを利用してほしいし、自助、共助で対応してほしい。

(3)災害を防ぐ為の事前行動計画・タイムラインの作成についてお聞きします。「調査研究を続ける」とのこと。全国的には和歌山県紀宝町や茨城県の常総市、千葉県酒々井町では「作成して良かった。職員が落ち着いて準備できる」とのことです。常総市では個人相互が話し合い「マイタイムライン」まで作っています。タイムラインを作ってほしい。

村長・総務課長本村ではタイムラインを作っていませんが、事前に職員が集まったりして準備と計画をしています。場合によってはタイムラインよりも勝る計画を作っています。今後もタイムラインについては調査研究を続けてまいります。

2　ふるさと納税の金額と使い方

石井ふるさと納税の競争が激化しています。　県内では大多喜町が一番かと思えば、現在、芝山町が一位で5億8千万円となっています。ふるさと納税の金額増収に向けた村の努力、納税金額、分野別使い方の申し出、金額を伺います。

村長 村では特産品の掘り起こしを積極的に進め村内業者との綿密な協議を経て、より魅力ある返礼品をアピールしてきました。その結果、昨年度で見ますと寄付の件数が約2万8千件、寄付金額は3億5千万円となっています。

石井 平成25年度～28年度の実績と使途分野別の金額は。(補正でも聞く)

企画課長　寄付額の推移　（単位は万円）

平成25	平成26	平成27	平成28	平成29
3	14	123	12000	35000

H29使途分野別申込（数は約数：単位は万円）

福祉	教育	環境	産業	一任
12.8%	25.9%	10.1%	2.8%	45.4%
4460	9085	3540	2000	16000

※ふるさと納税、平成25年度は3万円でしたが29年度は3億5千万円に増えました。

ふるさと納税でエアコン増設を

石井 村では小中学校の教室等にはエアコンが入っていますが、ランチルームなどエアコンが設置されていません。体育館など含めて学校施設でエアコンが入っていないところをお聞きします。

学校教育課長 現在、エアコンが入っているところは小中学校の普通教室と、小学校ではコンピュータールーム、図書室、中学校では理科室、音楽室、技術室、衣服室です。それ以外のランチルームや特別教室、体育館などにはエアコンが設置されていません。

石井 ふるさと納税を見ますと29年度3億5千万円入り、分野別申し出でお聞きすると、教育には9085万円となっている。この財源でランチルームや体育館などにエアコンを設置できないものか、来年度に向けて予算化できないものか。

学校教育課長夏の暑い時期にはエアコンの入っている教室で子供達は給食を食べています。来年度エアコン設置に向けて予算化する予定はありません。

※せっかく作ったランチルームです。生徒が一同に集まるので先生から周知ができ

たり、上級生が下級生の面倒をみたりして子供達の人間関係も深まってきた歴史もあります。ランチルームや体育館にもエアコンの設置を求めます。

住宅地に隣接する太陽光発電施設

3　太陽光発電施設設置の現状と規制

石井福島原発事故以来、自然再生エネルギーの普及として、太陽光、風力、などの取り組みが増えています。3.11 当初は「原発に頼らないと電力が足りない」と言われましたが、結果は全ての原発を止めても他の発電で足りていました。政府は原発再稼働を方針としています。私は原発に頼らず自然再生エネルギーを増やすことが一番だと思っています。質問です。自然再生エネルギーの評価と村内の太陽光発電施設設置の現状について伺います。

村長・下水環境課長東日本大震災を契機に電力需要を満たすため太陽光発電の普及が進みました。CO2 削減の効果や自然災害時の停電対応などに利用でき評価をしている。その反面樹木の伐採や自然破壊が懸念されるところがあります。村内の太陽光発電の設置数は 96 箇所で面積は 23 ㌶です。「個人が 52 箇所で面積 6 ㌶、企業が 44 件で面積 17 ㌶。農地は 46 件で面積 4 ㌶」となっています。

石井太陽光発電施設設置の規制についてです。最近、大切な林、緑が伐採され太陽光発電施設が増えています。太陽光は自然再生エネルギーですから、おおいに評価していますが。しかし、無秩序な設置で困る村民もいて相談が入ります。「キラキラ光ってまぶしい。温度の上昇。緑がなくなる。資産価値が下がる。」とのことです。規制する条例が必要ではないか。

下水環境課長太陽光発電設置の規制は今後、実施している市町村を参考にし、環境条例の中に盛り込むなど、検討をおこなっていきます。

※我孫子市では条例化し届け出を義務化しています。一定の面積や発電規模に対する条例を是非作るべきです。

4　教育委員・植草清氏決まる

本年 9 月 30 日をもって教育委員の任期が満了するため、新たに教育委員会委員を任命する必要があり提案され、植草清氏が全員の賛成で同意案件が成立しました。

5　請願 2 件が提出されました

① 紹介議員、阿井市郎、小倉利一議員による「精神障碍者も千葉県重度心身障碍者医療費補助制度の対象とする意見書の県への提出を求める請願」は全員賛成でした。

②紹介議員、塩谷法道議員による「東海第二原発の再稼働を認めないことを求める意見書採択に関する請願」は、賛成者石井、塩谷、関、門口、岩坂の各議員で、他の議員の反対多数で不採択でした。

※石井は②の東海村第二原発再稼働反対の請願に対し賛成討論を行いました。

八積技術専門校跡地情報

9 月議会終了後、村から「八積技術専門学校跡地の再利用要請を県にお願いしたところ、神奈川の会社（資本金 3000 万円、仕事はレアメタルリサイクル業）から申し込みがあり、一定の協議をしてきた」とす

る経過説明がありました。当日出席の議員の意見として
◎公害をださない企業なのか心配です。
◎村民の財産だから県営住宅や若者向けの住宅建設でどうか。
◎提出された資料を見ると信用できる企業なのか疑問があります。
◎障がい者、老人施設などもどうか
◎城之内では過去、幸福の科学への転売もあったので心配です。
※私としては前から表明してきた村民公募で跡地利用検討委員会を作り村民が納得する利用方法を決めるべきと思います。村は「持ち帰って検討する」となりました。

原爆の絵展開催
8月
10~12日

長生村文化会館で、原爆の絵展が開催されました。今回は教育委員会の後援もあり村内の小中学校全部に案内がされました。3日間で総勢260名の方々が来場。市原市、いすみ市、茂原市、睦沢町、一宮町、白子町、大網白里市など村外からも、老人福祉施設の方、親子づれ、祖父母と孫、子供達づれもありました。会場には、原爆投下当時をジオラマで再現したものや、はだしのゲンのDVDや読み聞かせ、折鶴、戦争関連の書籍などのコーナーも設けられていました。ある高齢の来場者は「戦争のときのことを思い出し涙がでました」とのこと。平和の大切さを強く訴えていました。
（石井としおは実行委員、後援会の有志もお手伝いしました。）

後援会で山梨にブドウ狩り
8月18日

朝5時に大型バスで村を出発し、途中渋滞もなくシャトー勝沼に立ち寄り、丸山農園に到着。たわわに実ったみごとな巨峰に歓声があがりました。時期が少し早くて、お目当てのシャインマスカットの完熟にはもう少しでした。バスレクも楽しく盛り上がり夕方には無事帰着しました。参加された皆様、御疲れ様でした。

編集後記

■4月の議会選挙で議員にさせていただき6月、9月と一般質問をおこない、大変緊張しました。9月12日の議会改革特別委員会の中では再度、議会のネット中継を提案し「録画、同時中継、経費などを調査し検討する」となりました。また、村民からいただいた要望は自治会長と相談しながら、要望書を担当課に提出し、順次改善が進んでいます。
■11月18日(日)午後2時より石井としお事務所で弁護士を入れ、無料法律相談をおこないます。※なお、事前申し込みが必要です。申し込み先は 090-3094-0321 石井まで、ご連絡ください。
■「石井としお通信」の配布ボランティアを募集しています。石井までご連絡ください。